

令和8年度 武雄北中学校の学校教育目標

「志を持ちゆめ実現を目指す人」 「自ら学びを求める人」 「心身ともに健康な人」

ユネスコスクール「夢プロジェクト」としてFIFA ワールドカップ日本代表戦を全校応援

6月26日（金）体育館にパブリックビューイングを設け、全校生徒でFIFA ワールドカップ日本代表戦を観戦し、熱い声援を送りました。

その目的は次にあげる2つです。

1つ目は、夢に向かって前進する意思の学習です。武雄北中では、「夢をもち、夢に向かって前進する生徒の育成」を目指して、ユネスコスクール「夢プロジェクト」を実践しています。世界の第一線で夢に向かって挑戦する日本代表選手の姿は、よいお手本の一つであるといえます。その姿を全校で共有し、その熱量を中総体に挑む生徒たちに引き継いでもらうこと。

2つ目は、社会貢献への意識と態度の学習です。ワールドカップで示されるフェアプレー精神や美化マナーを学び、中総体で「感謝の表し方」「マナーを守る態度」という社会貢献の意識をもって行動できる態度を学ぶこと。

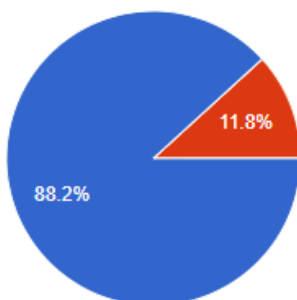
中総体に向けて、そして自分自身の夢実現に向けて、日本代表選手の最後まであきらめず全力で戦う姿を目に焼き付け、みんなから応援してもらえる人になれるよう何事にも全力で取り組む生徒になってほしいと期待しています。



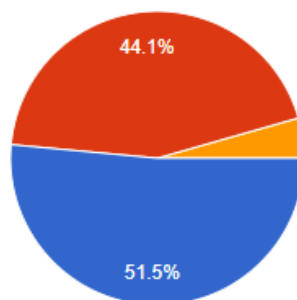
観戦後のアンケート結果



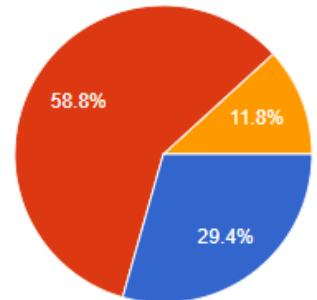
1 日本代表選手が夢に向かって努力している姿を感じることができた。



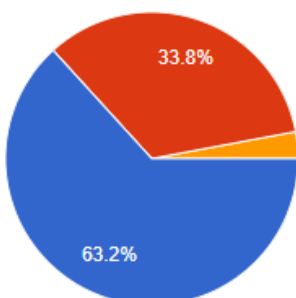
2 選手の姿を見て、自分も夢や目標に向かって頑張ろうと思った。



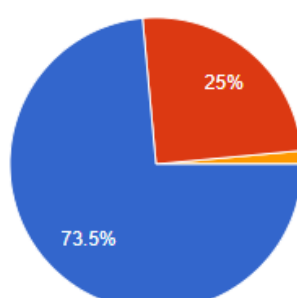
3 自分の夢や目標について改めて考えるきっかけとなった。



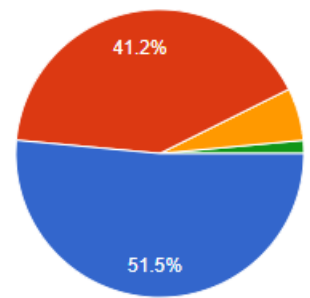
4 中総体に向けて「頑張ろう」という気持ちが高まった。(応援含)



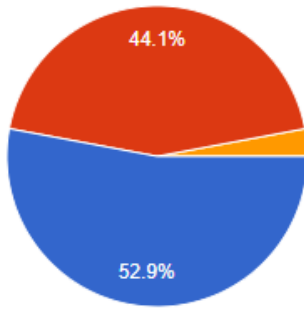
5 最後まであきらめないことや仲間と協力することの大切さを感じた。



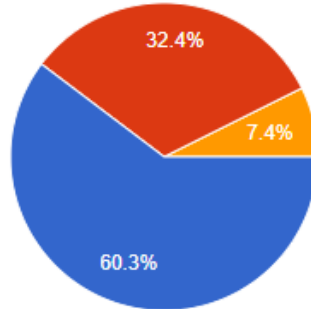
6 観戦を通して、応援やマナーについて考えることができた。



7 相手チームや審判を尊重することの大切さを感じた。



8 スポーツマンシップについて学ぶことができた。



9 観戦を通して、自分自身に生かしたいと思ったこと。

- ・目標に向かってあきらめない心。
- ・努力したことは、必ずかえってくるから自分を信じて前に突き進みたい。
- ・挫折を経験しても、自分の夢やしたいことを、諦めないで追いつけること。人の夢を応援すること。
- ・どんなときでもみんなと協力して、支え合うこと。
- ・頑張ろうという気持ちが大切。
- ・仲間と協力して、何かをやり遂げること。
- ・中総体で最後まで頑張ると思った。
- ・まだ中総体が残っているので自己ベスト更新に向けて頑張りたいです。
- ・夢に向かって、全力で頑張ろうと思った。
- ・どんな状況でも、仲間を信じ挑戦し続けること。
- ・中総体前に見れて、自分も中総体頑張っていきたいと思った。
- ・粘り強くチャンスを待って耐えていればいつかチャンスはめぐってくるのだとわかったので、何でも諦めずやり続けたいと思います。
- ・スポーツは、するだけでなく応援してくれる人がいるからこそ盛り上がって面白いことだと改めて思いました。部活でも自分の役割を全力でしたいです。
- ・自分の部活もチームで行うスポーツなので、日本の選手たちがボールを繋いでいたところを見て感心しました。そういうプレーを自分でも生かしていきたい。

他にも多くの感想がありました。どの感想も前向きなものばかりでした。

地区中総体 応援ありがとうございました。

地区中総体は前日までの大雨で開催が心配されましたが、2日間とも天気に恵まれ予定通り開催することができました。保護者の方、ご家族の方の温かい応援に支えられ精一杯プレーすることができました。2日間にわたる応援ありがとうございました。軟式野球は7月4日（土）まで試合が残っています。また、県中総体陸上競技は7月11日（土）12日（日）の開催です。応援よろしくお願いします。



【QRコード】



※ 行事予定や各種お便りは、武雄北中学校HPでも掲載しています。ぜひご覧ください。